

# 2010年度 情報検索基礎能力試験

## 試験問題

### 注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に氏名とフリガナを記入し、下の記入例を参照して受験番号を記入およびマークして下さい。  
また、「選択したコース名」欄に「Aコース」または「Bコース」何れかを必ずご記入下さい。記入のない場合は、採点対象となりませんので、ご注意下さい。

記 入 例				
受験番号				
3	1	0	6	8
0	0	●	0	0
1	●	1	1	1
2	2	2	2	2
●	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	●	6
7	7	7	7	7
8	8	8	8	●
9	9	9	9	9

3. 解答時間は、10：30～11：30の60分間です。

(裏面に続く)

4. 中途退席はできません。
5. 問題は18問、12ページ、解答用紙は1ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。  
また、受験票を忘れずにお持ち帰り下さい。

問1 次の文章の（１）～（５）に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を２回以上使用しないこと。

情報はさまざまな観点から分類することができる。記録の有無による情報の種類という観点であれば、何らかのメディアに固定された記録情報と、なんら記録されない非記録情報とがある。講演や会議などの口頭情報は（１）であるが、録音や文字で表現することにより（２）へと変換できる。情報の加工レベルによる観点で分類すると、研究開発中の実験記録などの非公開情報を（３）と呼び、公開されたオリジナルな内容を持つ情報を（４）と呼ぶ。データの表現方法の種類による分類もある。データの表現方法には例えば、文字、数値、画像、映像、音声などがある。この中でも文字情報は重要な部分を占めるが、今日ではこれらが混在した（５）が一般的になってきている。

解答群

- |           |              |         |
|-----------|--------------|---------|
| a. アナログ情報 | b. 一次情報      | c. 映像情報 |
| d. 記録情報   | e. デジタル情報    | f. 二次情報 |
| g. 非記録情報  | h. マルチメディア情報 | i. 零次情報 |

問2 次の（６）～（１０）の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を２回以上使用しないこと。

- （６）国の政策、政治、経済、社会の実態を国民に周知する目的で政府および関連機関から刊行される資料。
- （７）学術情報の交換を目的として学会や協会などが主催する会議で配布される講演要旨集。
- （８）出願する特許内容を詳細に記述したもので、詳細な科学技術情報であると同時に特許権を示す権利情報でもある。
- （９）必要な箇所だけを参照し調べるために編集された本であり、辞書、辞典、便覧、年刊などがある。
- （１０）同一誌名のもとに、終期を決めずに継続的に刊行される出版物。

解答群

- |         |          |          |         |
|---------|----------|----------|---------|
| a. 一般図書 | b. 学位論文  | c. 学術論文  | d. 参考図書 |
| e. 雑誌   | f. 政府刊行物 | g. 特許明細書 | h. 予稿集  |

問3 次の(11)～(15)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を 解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (11) カレントアウェアネスサービスの代表的なサービスで、データベースにあらかじめ検索式を登録し、データベースの更新時に電子メールなどで利用者へ配信するサービス。
- (12) 情報要求をもった人に対してその要求に合致した情報を得ることができるように支援すること。
- (13) ブログやニュースサイトの更新情報を知らせるサービスに使われるファイル形式。
- (14) 直接的に情報提供ができない場合に、情報を提供できると思われる人や機関を紹介するサービス。
- (15) 一定期間の情報を得るために、過去にさかのぼって行なう検索。

解答群

- |           |           |            |              |
|-----------|-----------|------------|--------------|
| a. OPAC   | b. RSS    | c. SDIサービス | d. SIST      |
| e. カレント検索 | f. 情報サービス | g. 遡及検索    | h. レフェラルサービス |

問4 次の(16)～(20)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを 解答用紙にマークしなさい。

- (16) コンピュータを使った情報検索サービスは1960年代に英国で始まった。
- (17) 利用者が直接的にデータベースを検索するオンライン検索サービスが開始されたのは1980年代に入ってからのことである。
- (18) 1990年代半ばにWWWサーチエンジンが登場し、情報検索は一般の人々にさらに浸透することとなった。
- (19) 現在、多くのOPACはWWWを通じてアクセス可能になっており、インターネットやWWWは情報検索にとって必要不可欠な存在になっている。
- (20) 最近では、さまざまな資料の全文や画像を提供する電子図書館も増えており、情報検索はさらに多様化の方向に進んでいる。

問5 次の文章の(21)～(25)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

情報検索システムの多くは、大規模なデータに対する高速な検索を実現するために、索引ファイルを活用している。索引ファイルに登録された語を(21)という。一般に(21)を抽出する作業は索引作成(indexing)と呼ばれる。英語などの言語の場合には、単語の間に挿入される(22)を切れ目として、語を抽出・登録するのが基本である。この際、theやofなどのいわゆる機能語は落とされて、索引ファイルには登録されないことが多い(これらの語は(23)と呼ばれる)。日本語の場合には、語の間の切れ目は原則的に存在しない。最近では、自然言語処理技術の(24)が発達し、索引作成に応用されている。また、明示的に語を識別せず、重複させつつ2文字ずつ機械的に区切って、これに基づいて索引を作成することもある。これを(25)と言う。

解答群

- |          |          |                   |
|----------|----------|-------------------|
| a. 空白    | b. 形態素解析 | c. 索引語            |
| d. 参照語   | e. 人工知能  | f. ストップワード        |
| g. スラッシュ | h. ハッシュ  | i. バイグラム(bi-gram) |

問6 下記の調査テーマに関する文献を収集するための検索式を検討する。

[調査テーマ]

電気自転車に利用される電池について調査したい。ここで、電気自転車とはモーター(電動機)によりペダルを踏む力を補助する機能を備えた自転車をいい、電動アシスト自転車とも呼ばれる。その動力源としてはニッケル水素電池、あるいはリチウムイオン二次電池が用いられることが多い。

上記の調査テーマに関する検索式を作成するにあたり、下記の事項(26)～(30)について、もっとも適切な対処法を解答群の中から選び、その記号を解答欄にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (26) 「電気」か「電動アシスト」の少なくともどちらか一方の語がふくまれるように検索したい。
- (27) 「電気自転車」「電動アシスト自転車」のように、語尾が「自転車」で終わる語を広く検索したい。
- (28) 「自転車」と「電池」の両方を含む文献を検索したい。
- (29) 電池について検索するが、ニッケル水素電池に関する文献を除く場合に利用する。
- (30) 「自転車」と「電池」が5文字以内に出現する文献を検索する。

解答群

- |                              |
|------------------------------|
| a. "前方一致"のトランケーションを使う。       |
| b. "後方一致"のトランケーションを使う。       |
| c. "中間任意(前後一致)"のトランケーションを使う。 |
| d. 近接演算子を使って検索する。            |
| e. 論理演算子"AND"を使って検索する。       |
| f. 論理演算子"OR"を使って検索する。        |
| g. 論理演算子"NOT"を使って検索する。       |

問7 情報検索において、検索結果の評価に関する次の文章の(31)～(36)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答欄にマークしなさい。  
ただし、同じ記号を2回以上使用しても構わない。

精度は(31)に関する指標であり、(31)が少ないほどその値は高くなる。それに対して再現率は(32)に関する指標であり、(32)が少ないほどその値は高くなる。一般に、(31)を減らそうとすると、(32)は増加し、また、(32)を減らそうとすると、(31)が増えてしまうことが多い。

検索結果の評価指標として、精度と再現率は次のように定義できる。

$$\text{精 度} = \frac{(33)}{(34)} \qquad \text{再現率} = \frac{(35)}{(36)}$$

解答群

- |               |          |                 |
|---------------|----------|-----------------|
| a. 経験値        | b. 検索結果  | c. 検索された適合文献の件数 |
| d. 検索された文献の件数 | e. 検索ノイズ | f. 検索もれ         |
| g. 適合文献の件数    | h. 満足度   |                 |

問8 次の(37)～(41)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

(37) 600MB～700MB程度で追記のみ可能な光ディスク。

(38) USB接続可能なフラッシュメモリ。

(39) 取り外し可能な磁気ディスク。

(40) 両面と片面のものがあり、片面で4.7GB程度の光ディスク。

(41) 携帯電話やデジタルカメラにむいている小型カードタイプのフラッシュメモリ。

解答群

- |         |              |           |              |
|---------|--------------|-----------|--------------|
| a. CD-R | b. DVD-ROM   | c. FD     | d. LD        |
| e. MO   | f. SDメモリーカード | g. USBメモリ | h. リムーバブルHDD |

問9 次の文章の(42)～(46)について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

(42) WWWは一種のハイパーテキストの集まりと捉えることができ、現在では膨大な数のWWWサイトがインターネット上に存在している。

(43) WWWのページはHTMLによって記述される。

(44) HTMLで書かれたファイルをブラウザで読み出すためのプロトコルをSMTPという。

(45) HTMLでは、データを<TITLE>のようなタグを使って表現する。

(46) WWWを閲覧するには、インターネットに接続したのち、WWWブラウザと呼ばれるOSを利用する。

問10 次の文章の(47)～(51)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

私たちが生活する情報社会における身近なサービスとして、電子メールがあげられる。電子メールは、電話と同様、1対1のコミュニケーション・ツールとして利用されるほか、(47)（通常、CCと略される）などの機能や(48)といったサービスを利用して、1対多のコミュニケーションも可能にする。(48)は、ある一つの(49)をグループで共有し、情報交換の手段として利用するものである。ワープロソフトで作成した文書などの送信には(50)といった手段を使えることも大きな特徴のひとつである。

その一方で、迷惑メールである(51)による被害や、(50)等を通してコンピュータ・ウィルスに感染する、などの問題が存在する。

解答群

a. BCC	b. carbon copy	c. PDFファイル	d. シェアウェア
e. スпам	f. 添付ファイル	g. メーリングリスト	h. メールアドレス

問11 セキュリティに係る下記の(52)～(56)の事項について、関連の深い最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。  
ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (52) 電子情報の不正コピーを防ぐために、目印情報をデータに埋め込む
- (53) 個人の身体的・行動的特徴によって身元を確認する
- (54) ソフトウェアのバグや欠陥
- (55) 会員制Webサイトにおけるユーザー認証などで、ユーザーIDと組み合わせて用いる
- (56) アンチウイルス・ソフトを最新の状態に保つために、ソフトウェア・メーカーから配布される

解答群

- |               |                |                |
|---------------|----------------|----------------|
| a. ウィルス定義ファイル | b. 共通鍵、秘密鍵、公開鍵 | c. セキュリティ・ホール  |
| d. 電子透かし技術    | e. ネチケット       | f. バイオメトリックス技術 |
| g. パスワード      | h. ファイル交換ソフト   |                |

問12 次の(57)～(61)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (57) 著作物を伝達する際に重要な役割を果たす人に与えられる権利で、具体的には、実演者(俳優、歌手、演奏家、演出家など)、レコード製作者、放送事業者などがこの権利を有する。
- (58) 作成したHTMLファイルをWWWサーバにアップロードする権利
- (59) 人間の知的創作活動の成果に関して主張できる法的権利の総称で、一定期間、各法律に基づいて保護している。
- (60) 産業財産権のうち、物品のデザインなどに関連した権利
- (61) 著作物を無断で改変されない権利

解答群

- |          |          |           |           |
|----------|----------|-----------|-----------|
| a. 意匠権   | b. 公表権   | c. 商標権    | d. 送信可能化権 |
| e. 知的財産権 | f. 著作隣接権 | g. 同一性保持権 | h. 複製権    |

## 選択Aコース

問13-A 次の(62)～(66)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (62) 書誌情報に必ず所蔵情報あるいは所在情報を伴っていないならば、厳密には目録とは呼べない。
- (63) 総合目録は、所蔵目録ともいい、特定の図書館が所蔵するコレクションの資料を一定の目録規則によって記述したリストである。
- (64) 冊子目録はいつでも新しい蔵書への対応ができる点でカード目録より優れている。
- (65) 閲覧用目録とは、利用者用目録のことで、資料の書誌情報などが記載された冊子目録やカード目録、OPACのことである。
- (66) コンピュータ目録は、更新も容易でスペースの問題も少ない。また多くの検索項目を設定できる点で優れている。

問14-A 次の(67)～(71)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (67) 自館だけで独自に使用することを目的に独自に編成した分類体系である。
- (68) 図書そのものを書架上に体系的に配列するための分類である。一冊の図書は一カ所に分類される。DDC、NDCなどがある。
- (69) 資料を多面的な角度から検索するための分類で、分類目録や書誌に収録するための分類である。  
重出、分出が可能である。UDC、JICST科学技術分類表、IPCなどがある。
- (70) 上位概念から下位概念へ展開されていく分類体系である。DDC、NDC、NDLCなどがある。
- (71) 主題概念を、主題、対象、時間などのように互いに重複しない有限の構成要素に分析し、各構成要素を表現する記号を組み合わせで表現する。コロソ分類法などがある。

解答群

- |         |         |            |          |
|---------|---------|------------|----------|
| a. 一館分類 | b. 一般分類 | c. 書架分類    | d. 書誌分類  |
| e. 十進分類 | f. 標準分類 | g. 分析合成型分類 | h. 列挙型分類 |

問15-A 次の文章の(72)～(76)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

件名標目表には、(72)と(73)がある。前者は多くの図書館が共通に採用すると予想される件名標目を採録したもので、例として(74)ある。後者は特定の図書館の件名目録に使用する件名標目を採録したもので、例として(75)がある。

また、広い分野の標目を採録する一般件名標目表と、(76)のように特定の分野の件名標目を採録する専門件名標目表に分けることもできる。

解答群

- |            |          |                 |
|------------|----------|-----------------|
| a. MeSH    | b. NLM   | c. 一館件名標目表      |
| d. 基本件名標目表 | e. 件名目録  | f. 国立国会図書館件名標目表 |
| g. 参照語     | h. シソーラス | i. 標準件名標目表      |

問16-A 次の文章の(77)～(81)について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (77) 定期的に一括して情報更新を行うデータベースをフルテキストデータベースという
- (78) 文字、画像、音声、数値など異なる形態の情報が同時に表示できるデータベースをマルチメディアデータベースという
- (79) 抄録や書誌事項などの二次情報が検索できるデータベースをファクトデータベースという
- (80) 日本においてデータベースサービスが開始されたのは1960年代からである。
- (81) データベースが著作物であることは、特許法で定められている。

問17-A 次の文章の(82)～(86)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

商用データベースは有料であるため、企業や図書館が機関として契約し、社員や図書館利用者に情報サービスする際に利用されることが多い。利用の多い企業情報に関する商用データベースの例として、(82)の企業情報データベース、(83)の提供するtsr-van2などがある。また、科学技術分野のデータベースの例として、国内の機関が作成している(84)、海外の機関が作成している(85)などが有名である。また、化学分野のデータベースとしては、(86)が著名である。

解答群

- |            |             |             |             |
|------------|-------------|-------------|-------------|
| a. CA Plus | b. JSTPlus  | c. MEDLINE  | d. NTIS     |
| e. PATOLIS | f. 帝国データバンク | g. 東京商工リサーチ | h. 日外アソシエーツ |

問18-A 次の文章の(87)～(91)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (87) 自社で作成したデータベースまたは他社から購入したデータベースを自社のホストコンピュータやサーバーに載せ、自社の検索システムから利用できるようにして利用者に提供する。
- (88) 商用データベースの提供に際して、契約手続きや日常のトラブル対応、講習会、新規データベースの紹介などを行う。
- (89) 利用者自身が直接検索できない場合に、代わりにデータベース検索を実施し、結果を利用者に提供するサービスを行う。
- (90) データベースを構築する。
- (91) オンライン検索を行うために必要な通信回線を提供する。

解答群

- |               |               |               |
|---------------|---------------|---------------|
| a. アーカイブ      | b. 検索エンジンサービス | c. 検索代行者      |
| d. 代理店        | e. 通信事業者      | f. データベース作成機関 |
| g. データベース提供機関 | h. 文献送付サービス   |               |

## 選択Bコース

問13-B 次の(62)～(66)の説明にあてはまる最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (62) レポートを作成する際に、他人の意見や事実を示した情報を参照すること
- (63) レポートや論文を作成する際に起こりがちな、著作者の権利を侵害する行為
- (64) レポートを作成する際に、通常用いられる文体
- (65) レポートを作成する際に、構成を考えるよりも前の段階で行うべきこと
- (66) ワードプロソフトを用いて文章を作成する際、A4判用紙を縦に用い、一段組にした場合の1行あたりの文字数の目安

解答群

- |          |          |          |          |
|----------|----------|----------|----------|
| a. 引用    | b. 情報の整理 | c. 推敲    | d. である調  |
| e. ですます調 | f. 剽窃    | g. 36～40 | h. 45～50 |

問14-B 次の文章の(67)～(71)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

レポートを作成する際、文章で表現することが困難な場合、あるいは視覚的に訴えたほうがわかりやすい場合などに(67)や(68)を利用する。それらの種類はさまざまであり、たとえば写真も(67)の一種といえる。

(68)は大量の(69)を処理、表現できるだけでなく、複数の情報の要点を簡潔にまとめたり、さまざまな観点から情報を整理することができるという特徴をもつ。

大量の(69)を処理する際に(68)が用いられるが、この(68)に表現された(69)を視覚化したものがグラフである。

グラフの種類には、棒グラフ、折れ線グラフ、面グラフ、円グラフ、レーダーチャート、散布図等があり、これらのうち、(70)は量の変化と構成比率の両方を一緒に表現するのに適しており、(71)は複数の要素のバランスを比較するのに適している。

解答群

- |        |          |         |             |
|--------|----------|---------|-------------|
| a. 散布図 | b. 数値データ | c. 図式化  | d. 図        |
| e. 統計  | f. 表     | g. 面グラフ | h. レーダーチャート |

問15-B 次の(72)～(76)の文章について、正しいものにはaを、誤りであるものはbを  
解答用紙にマークしなさい。

- (72) Webページを記述する際には、HTMLあるいはXML言語等が用いられる。
- (73) ブログでは、RSSという機能を使って、どのブログからリンクが張られたのかを参照することができる。
- (74) 10年以上前から利用されている情報発信の手段として、ツイッターがある。
- (75) 電子メールを作成する際には、季節の挨拶をタイトル(件名)とすることがビジネスマナーである。
- (76) ホームページを公開した後は、利用者が混乱しないよう、内容の追加や更新は1～2年に一度が望ましいとされている。

問16-B ワードプロソフトの基本機能について、次の(77)～(81)の説明にあてはまる最も  
適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。  
ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

- (77) 印刷する前に完成した文書の印刷イメージを確認できる機能。
- (78) 入力した文字のフォントやサイズを変更したり、強調(太字)や下線などの装飾を追加する機能。
- (79) 日本語を入力する機能。
- (80) ある文章を別の場所に移動させる機能。
- (81) 左端揃え(左寄せ)、中央揃え(中央寄せ、センタリング)、右端揃え(右寄せ)など、文字や文章、図・表などの配置を変更できる機能。

解答群

- |        |       |               |              |
|--------|-------|---------------|--------------|
| a. IME | b. 印刷 | c. 印刷プレビュー    | d. カット& ペースト |
| e. 挿入  | f. 編集 | g. 文字のスタイルの変更 | h. レイアウトの変更  |

問17-B 次の文章の(82)～(86)に入る最も適切な語句を解答群の中から選び、その記号を解答用紙にマークしなさい。ただし、同じ記号を2回以上使用しないこと。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	上半期通信費	1月	2月	3月	4月	5月	6月	平均	
2	2008年	10,306	11,017	16,352	10,419	5,019	11,427		
3	2009年	12,350	12,238	12,542	12,524	12,220	13,034		
4	前年比								
5									

表計算ソフトExcelでは1つ1つのマス目をセルと呼び、横に分割するものを(82)、縦に分割するものを(83)と呼ぶ。図の「平均」が入力されているセルは、(83)が「H」、(82)が「1」であるので「H1」と表わす。この参照方式を用いて、計算式を入力することもできる。C4セルに前年比つまり、C2に対するC3の比率を計算した値を入れたい場合は、(84)と入力すればよい。また、Excelには合計値や平均値、最大値などを計算する(85)があるため、例えば2008年上半期の平均値を計算したい場合は、H2セルに(86)とすれば良い。

解答群

- |                     |              |              |
|---------------------|--------------|--------------|
| a. = AVERAGE(B2:G2) | b. = C3 * C2 | c. = C3 / C2 |
| d. = SUM(B2:G2)     | e. 関数        | f. 行         |
| g. クエリ              | h. タグ        | i. 列         |

問18-B 次の(87)～(91)の各文章について、正しいものにはaを、誤りであるものにはbを解答用紙にマークしなさい。

- (87) データベースソフトとは、さまざまなデータを管理・利用するためのアプリケーションソフトである。
- (88) データベースには様々な種類があるがパソコン用のアプリケーションソフトではネットワーク型データベースが一般的である。
- (89) リレーショナルデータベースでは、表計算ソフトのデータベース機能と同じように、データをテーブルと呼ばれる表形式で表現する。
- (90) 代表的なデータベースソフトの一つにAdobe社のAcrobatがある。
- (91) 複数の処理要求を適切に処理する機能はトランザクション機能と言う。